

- 問1 高知県ではなすの生産が盛んですが、東京市場におけるなすの卸売価格が「夏に安く、冬から春に高い」という傾向がある中で、高知県が冬から春に出荷を集中させている理由として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 奈良県公立入試 類似）
1. 黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の産地からの出荷が少ない高価格な時期を狙って収益を上げるため
 2. 冬から春はなすの需要が大幅に減少するため、供給量を増やすことで市場価格をさらに下げ、消費を拡大させるため
 3. 夏は台風の被害を受けやすいため、あえて価格の安い冬から春の時期に生産時期をずらして安定供給を図るため
 4. 高知県の冬の寒冷な気候を利用して、時間をかけてゆっくりと育てることで、なすの品質を向上させるため
- 問2 愛媛県南西部の坂下津から戎ヶ鼻にかけてのように、リアス海岸が広がる地域では海岸のすぐ近くまで山が迫っています。このような地形的制約がある中で、この地域の斜面で広く行われている農業の特色について述べたものはどれですか。（2020年 千葉県公立入試 類似）
1. 土砂が堆積してできた平坦な土地を利用して、大規模な機械化による小麦の栽培が行われている。
 2. 冷涼な気候を活かし、山の斜面を牧草地として利用した乳牛の放牧が行われている。
 3. 日当たりの良い斜面を段々畑として整備し、みかんなどのかんきつ類の栽培が行われている。
 4. 海岸沿いに広がる砂丘を利用して、スプリンクラーを用いたらっきょうやスイカの栽培が行われている。
- 問3 広島市は、札幌市、仙台市、福岡市などと同様に「地方中枢都市」と呼ばれます。広島市がこのような役割を担うようになった背景として、その都市機能の仕組みを説明した文としてふさわしいものはどれですか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
1. 中国山地と四国山地に挟まれた交通の便を活かし、周辺のすべての県庁所在地を統合した行政区となっているから。
 2. 広島県内における農業、工業、商業のすべての産業において、県全体の生産額の過半数を占めているから。
 3. 県単位の枠組みを超え、中国・四国地方という広い範囲を管轄する行政や経済の窓口となっているから。
 4. 瀬戸内海沿岸の工業地帯において、原材料の輸入と製品の輸出を管理する貿易の独占拠点となっているから。
- 問4 岡山県から四国側への自動車による到達圏域の変化を調べた調査において、1985年時点と比較して、2011年時点では四国側のより広範囲の地域へ短時間で到達できるようになっています。このような変化が生じた歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 瀬戸内海沿岸の埋め立てが進み、四国との間の海上の距離が物理的に短くなったため。
 2. 1988年に青函トンネルが開通し、全国的な高速道路網の整備が完了したため。
 3. 1998年に明石海峡大橋が開通し、徳島県から岡山県への移動が容易になったため。
 4. 1988年に瀬戸大橋が開通し、本州と四国が道路と鉄道によって直結されたため。
- 問5 四国地方の南部に位置する高知県は、黒潮の影響を受けた温暖な気候を活かした農業が盛んです。四国の各県の農産物収穫量を比較した統計において、高知県が約3万9000トンという数値を記録し、四国地方で最大の収穫量を誇る農作物はどれですか。（2019年 兵庫県公立入試 類似）
1. 小麦
 2. なす
 3. レタス
 4. みかん
- 問6 島根県の工業構造について、製造品出荷額の統計資料から読み取れる背景や特徴を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. 阪神工業地帯の一角を担う地域として、大規模な石油化学コンビナートが沿岸部に形成されている。
 2. 歴史的な背景に由来する鉄鋼業が、県全体の製造品出荷額において主要な産業の一つとなっている。
 3. 高速道路網の整備により、大消費地に供給するための食料品工業が製造品出荷額の第1位となっている。
 4. シリコンアイランドと呼ばれるような、大規模な半導体工場を中心とした工業集積が見られる。
- 問7 瀬戸内海を挟むように位置する2つの山地について、北側の中国地方に連なる山地と、南側の四国地方の中央部を走る山地の名称を正しく組み合わせたものはどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 北側：筑紫山地、南側：九州山地
 2. 北側：中国山地、南側：四国山地
 3. 北側：四国山地、南側：中国山地
 4. 北側：飛騨山脈、南側：木曽山脈
- 問8 日本の農業において、農家の経営改善を目的に栽培品目の転換が行われることがあります。ある地域での統計によると、レモンは1kgあたりの平均価格が約439円、10アールあたりの生産量が3200kgである一方、労働時間は123時間となっています。これに対し、みかんは平均価格が223円で労働時間は199時間、不知火（しらぬい）は平均価格が344円で労働時間は202時間となっています。これらの数値を比較した際、レモンを導入する利点として最も適切な説明はどれですか。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 不知火よりも労働時間が多く必要とされるが、生産量と平均価格のバランスが良いため、売上額を最大化できる点。
 2. みかんよりも1kgあたりの平均価格は低いものの、労働時間が大幅に短縮されているため、人件費を抑えた経営ができる点。
 3. 1kgあたりの平均価格は他のかんきつ類と同程度だが、生産量が圧倒的に多いため、大量出荷による市場独占が狙える点。
 4. 他の品目と比較して、平均価格が高だけでなく生産量も多いため、少ない労働時間で高い収益が期待できる点。
- 問9 日本の諸地域の気候を比較した統計資料において、石川県金沢市のように冬の降水量が多い日本海側の気候や、静岡県浜松市のように夏の降水量が多い太平洋側の気候に対し、愛媛県松山市などの瀬戸内地方で見られる降水量の特徴として最も適切なものはどれですか。（2021年 沖縄県公立入試 類似）
1. 梅雨や台風の影響を非常に強く受けるため、夏から秋にかけての降水量が2000mmを超える。
 2. 一年を通じて各月の降水量が概ね100mm前後で推移し、他の地域に比べて年間の総降水量が少ない。
 3. 一年を通じて気温の変化が激しく、夏は雨が非常に多いが冬は全く雨が降らない。
 4. 冬の北西の季節風の影響を強く受けるため、12月から2月にかけての降水量が一年で最も多い。
- 問10 ある県の農業産出額の内訳をみると、総額約4409億円のうち、野菜が約1611億円と最も大きな割合を占めており、次いで畜産が約1340億円となっています。一方で果実は約111億円にとどまっています。この統計が示す高知県の農業的特徴について、正しい説明はどれですか。（2024年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 大都市に近い立地を活かしてコマツナなどの鮮度が重要な野菜を生産し、産出額を高めている
 2. 温暖な気候を活かしてピーマンなどの収穫時期を早めることで、野菜の産出額を高めている
 3. 広大な平野を利用した大規模な機械化により、米を主産物として野菜と組み合わせている
 4. 高冷地の冷涼な気候を活かしてレタスなどの収穫時期を遅らせることで、野菜の産出額を高めている
- 問11 岡山県やくらしき市、山口県周南市などの瀬戸内海沿岸部には、多くの石油化学コンビナートが立地しています。これらの工場群が、内陸部ではなくあえて臨海部に集中している理由として、最も適切な説明はどれですか。（2018年 沖縄県公立入試 類似）
1. 製品の冷却に大量の淡水が必要なため、大きな河川の河口付近に工場を建てる必要があるから
 2. 海上交通の便が良く、港湾施設を利用して原料の輸入や製品の輸送を効率的に行えるから
 3. 主要な消費地である東京や大阪などの大都市に隣接しており、高速道路網による陸上輸送に有利だから
 4. 周辺の山地で採掘される石炭や鉄鉱石を、短い距離で工場へ運び込むことができるから